

エリア・人・資源・自然をつなぐ たいこまるプラザ 開館！

成羽美術館東側の成羽総合福祉センター跡地に建設が進められていた高梁市成羽複合施設（愛称…たいこまるプラザ）が完成し、8月31日（月）に開館します。

たいこまるプラザは、地域局・公民館・図書室・観光案内所・バス停留所の機能を集約し、伊藤謙介さんからの寄付により整備した「伊藤記念ホール」を併せ持つ複合施設です。エリア・人・資源・自然をつなぐというコンセプトで作られた、たいこまるプラザ。成羽地域だけでなく、多くの人にご利用いただきたいと願っています。

☎成羽地域局 ☎(42)3211

成羽公民館 ☎(42)2525

成羽公民館図書室 ☎(42)2589

観光案内所 ☎(42)4325

社会教育課 ☎(21)1514

文化施設で地域に貢献したい

伊藤 謙介さん 名誉市民・京セラ(株)元代表取締役会長

成羽町で生まれ育った伊藤謙介さんは、後に世界的な企業となる京セラ株式会社の創業時から中心メンバーとして活躍され、平成28年には本市の名誉市民に推戴されました。

故郷の子どもたちが立派な社会人に育ってほしいという思いから、これまでも本市へ多額の寄付をいただいています。生まれ育った故郷の人との交流を大切にされてきた中で、「文化ホールを建設し、地域に貢献したい」という思いを語り、このたびの整備に向けて5億円の寄付をいただきました。

たいこまるプラザ2階に「伊藤謙介言葉のギャラリー」として顕彰室を設置し、伊藤さんの功績などを紹介しています。

なお、本年7月には京セラ(株)の株券3万株の贈呈をいただき、市はその配当金で小・中学校への図書を購入することとしています。

伊藤記念ホール



株券の寄付に対する感謝状贈呈式には成羽小・中学校の児童と生徒も参加し、お礼の言葉を述べました。(7月17日)

高梁市成羽複合施設(たいこまるプラザ)概要

施設コンセプト

～つなぐ～ エリア・人・資源・自然をつなぐ

- ① 北側駐車場とエントランス(なりわ広場)、ホールまで、一体的に活用できる開放的な構造
- ② 隣接する成羽美術館との連携を可能にする導線
- ③ 効率的な行政サービスの提供を実現

構造・規模

鉄筋コンクリート造2階建(1部3階)
延床面積 2,444㎡(ホール 734㎡、地域局(公民館事務所含む) 190㎡、市民活動室など 240㎡、図書室 183㎡、その他 1,097㎡)、敷地面積 6,066㎡

事業費

設計(基本・実施・監理)…7400万円/建設工事費(建築・電気設備・機械設備)…10億2400万円/外構・備品・顕彰室整備…2億6200万円
※用地費・施設改修費などを除く

伊藤記念ホール

収容人員…250人(移動観覧席 156席)

成羽公民館図書室

蔵書数…約 20,000冊

「たいこまる」とは

隣接する成羽美術館や成羽小学校の一角は、元和3(1617)年に因幡国若桜から成羽に入封された山崎家治が築いた成羽藩の陣屋の跡地です。

山崎氏が陣屋町と御殿を整備した頃、南にそびえる鶴首山の中腹の平坦地で時を知らせる太鼓を鳴らしていたとされ、地元住民の間ではその地を「たいこまる」と呼び、今日まで親しまれてきました。

